

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
老年看護学総論	2年次 前期	必修	講義	2単位（30時間）	佐藤 純子 ※
授 業 概 要					
<p>老年期を人間的成熟・統合の時期であるという立場から捉え、老年期を生きる人々とその家族の生活、社会の諸問題を学ぶことを通して、高齢者を身近な存在として関心を持てるよう展開する。</p> <p>個別的で多様な状況を併せもつ高齢者に対し、高齢者のQOLを重視した生活機能について、アセスメントする視点と方法を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 老年看護の定義・目的・方法について説明することができる。</p> <p>2. 高齢者の生活機能について、ICFの視点に基づき看護の展開を述べる。</p> <p>3. 健康課題をもつ高齢者の生活機能について、ICFの視点からアセスメントし看護計画を立案する。</p>					
実務経験のある教員					
佐藤純子：高齢者看護の臨床経験を踏まえ、老年看護について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1 2-15	<p>1. 老年期の特徴（生涯発達論Ⅱの復習）</p> <p>2. 老年看護とは</p> <p>1) 老年看護の定義</p> <p>2) 老年看護の目的</p> <p>3) 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度</p> <p>①日本における保健医療福祉制度の変遷</p> <p>②高齢者の健康づくりに関する制度・法律</p> <p>③介護保険制度</p> <p>④高齢者の生活を支える地域包括ケアシステム</p> <p>⑤後期高齢者医療制度</p> <p>4) 高齢者の権利擁護</p> <p>①高齢者の権利擁護と意思決定支援</p> <p>②高齢者に対する虐待</p> <p>③身体拘束</p> <p>④高齢者の権利を守る制度</p> <p>3. 生活機能（ICF）の視点に基づく高齢者のアセスメントと看護</p> <p>1) ICFとは（復習）</p> <p>2) ICFの視点で対象を捉える方法</p> <p>3) ICFを使用したアセスメントと看護計画立案 ～紙上事例を使用した演習～</p>				佐藤 純子 ※
学 習 方 法					
講義、グループワーク、紙上事例展開（演習）					
評 価 方 法					
〔評価方法〕					
小テスト 科目修了試験 演習課題の成果物					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 北川公子 他 著 医学書院					